

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成24年5月31日

北海道運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局 における二次評価結果	備考
					事業実施 の適切性	目標・効果 達成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定 に向けた方針)	評価結果	
12	本別町地域公共交通 会議	陸上交通に係る 地域公共交通確保 維持事業 (地域内フィーダー 系統)	① 本別町 太陽の丘循環(南回 り)	町立病院～本別道の 駅～町立病院	A	B	広報紙や町民への時刻 表配布などを活用し、町 民へのPRに努めるととも に、中心市街地へ向かう 運行ルートの見直しを行 い、買物等の生活利便性 の向上を図り、バス利用 を促進する。	自己評価のとおり、適切に 事業が実施されている。 フリー乗降や近道便の導 入など、利便性向上のため の対策は講じているが、現 状の利用者の多くを占める と思われる病院への通院患 者数が減少しているのであ れば、その分析を行ったうえ で住民のニーズに応えられ る運行を目指していく必要が ある。また、今後は地域住民 や商工関係者との連携を強 め、病院以外のニーズの創 設・掘り起こしなど、利用者 増に向けた利用促進を図る とともに現状の実績を踏まえ た定量的目標を具体的に設 定することを期待する。	
			② 本別町 太陽の丘循環(北回 り)	町立病院～本別道の 駅～町立病院					
			③ 本別町 太陽の丘循環(直行 便)	町立病院～活性化セン ター					
			④ 本別町 太陽の丘循環(近道 便)	町立病院～本別道の 駅～町立病院					

# 本別町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

本別町は、人口約9千人の過疎地域であり、高齢者の通院等の住民生活に不可欠な公共交通は、旧ふるさと銀河線から転換された民間路線バス及び町営バス等により維持しているが、少子高齢化・人口減に伴う利用者の減少や生活行動パターンに沿った利便性の確保等が課題となっている。

本事業では、国保病院の移転に伴い、市街地区と国保病院を結ぶバスとして、平成12年4月より運行している太陽の丘循環バスについて、通院のみならず、買物等の生活利便性を図るコミュニティバスとしての機能を向上させ、町民が安心して暮らせる交通環境を確保し、また、運行方法等の工夫により将来にわたり持続可能な公共交通サービスを行うことを目指し、地域における公共交通の維持確保に努めるものである。

## 本別町生活交通ネットワーク計画の目標

- 通院時の利便性を確保しながら、生活面の利便性の向上を図るように運行計画を見直し、コミュニティバスとしての機能を向上させるとともに、将来にわたって町民が安心できる暮らしを支える公共交通を確保する。
- 広報活動の充実を図り、着実な利用の定着化とともに、町民が安心して誰もが利用しやすい環境の整備に努め、利用者増を目指した取り組みを行う。

## 平成24年度事業概要

- 太陽の丘循環バス
- 南回り 町立病院～南地区～本別道の駅～町立病院
  - 北回り 町立病院～北地区～本別道の駅～町立病院
  - 直行便 町立病院～活性化センター
  - 近道便 町立病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)南北地区～町立病院

## 地域公共交通の現況

- ・十勝バス(株)(地域間1路線)
- ・本別浦幌生活維持路線(地域間1路線)
- ・町営バス(太陽の丘循環バス4路線、へき地患者輸送バス5路線、町有バス6路線)
- ・スクールバス(7路線)

## 本別町地域公共交通会議開催状況

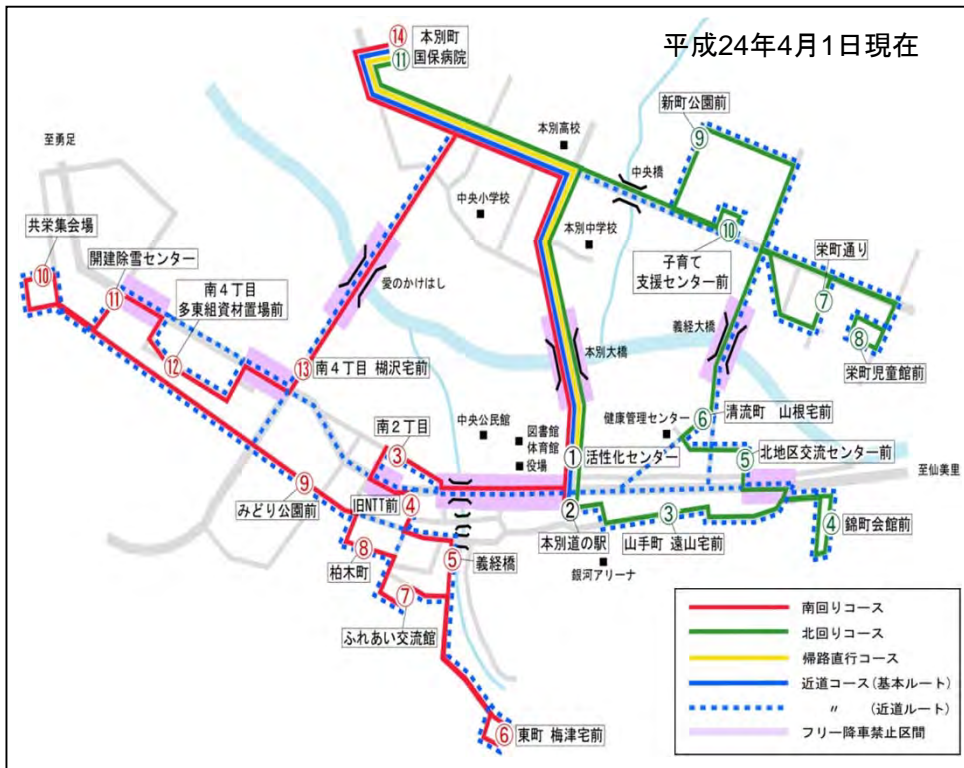
- 平成24年1月23日(主な協議事項)
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
- ・太陽の丘循環バス新規路線の追加とフリー降車の実施について

## 平成24年度事業の実施状況

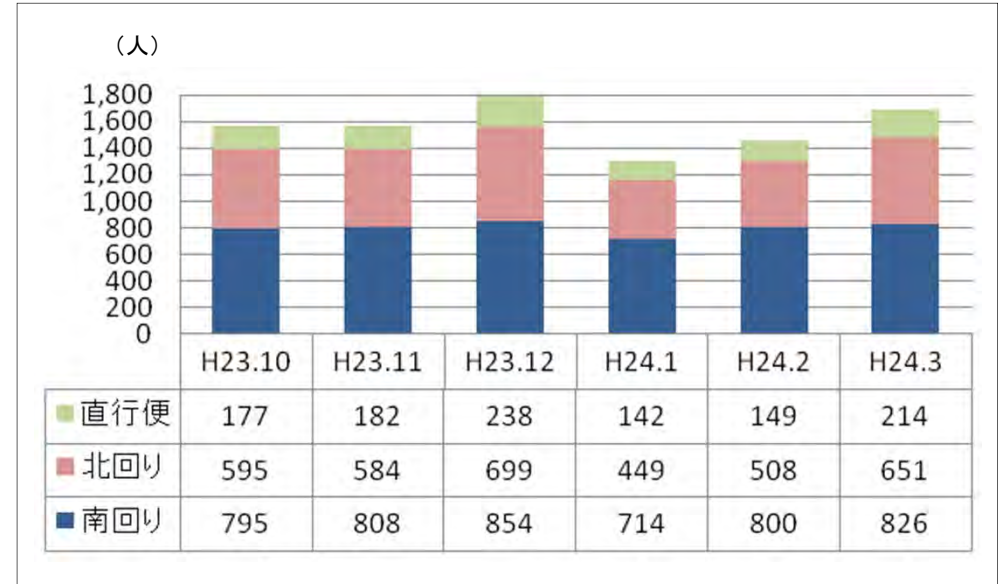
### 1) プロセス、創意工夫

- ・平成22年度域公共交通活性化・再生総合事業による調査事業において、当循環バスの見直し試験運行を行う。
- ・平成24年度より、地域公共交通確保維持事業を活用する。
- ・南回りルートに3か所の停留所を新設する。(H23.11)
- ・利用者の少ない南、北回りの最終便(第6便)を廃止し、近道便を新設、運行の効率化を図る。(H24.4~)
- ・全路線全便でフリー降車を実施し、利用性の向上を図る。(H24.4~)

### 2) 運行ルート



### 3) 利用実績



### 4) 収入実績

